

平成15年度ホタテガイ採苗情報（第3報）

平成15年4月25日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「少ないながら付着稚貝が確認されています。」

1 ラーバの出現状況

4月24日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 μm未滿が39個/トン、200 μm以上が21個/トンと、前回調査時（合計41個/トン）より増加しています。

なお、調査時の水深10m層の水温は6.5で、前回調査時より1上昇しましたが、平成9～14年の平均値より2程度低めとなっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

4月21日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されました。

しかし、付着稚貝数は、何れの地点でも11個/袋以下と、少ない状況です。



図 調査地点および付着稚貝調査結果

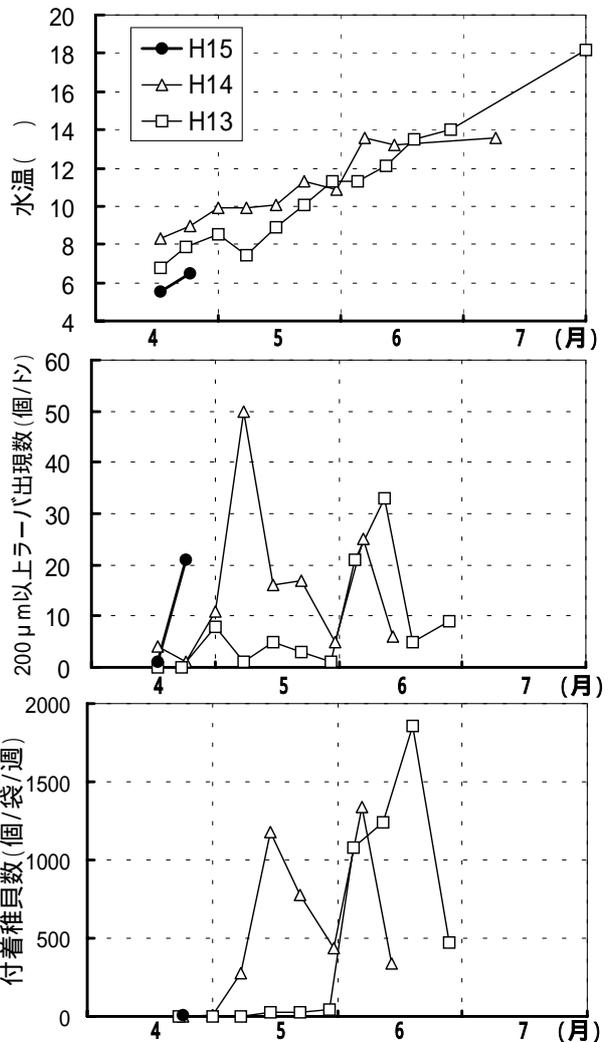


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部では、大型のラーバも確認されています。

しかし、試験採苗器への付着稚貝数は少なく、水温もまだ低い状況にあることから採苗器の投入適期ではないと考えられます。

次報は、5月2日頃発行する予定です。